



交流活動をとおして

本校は、子どもが「自分から」、「自分で」、自主的・主体的に活動する姿を願っています。自主性や主体性は、「できる状況」の中で、様々な「ひと・もの・こと」とのかかわりを持ちながら、実際に活動する・生活する中でこそ身に付いていきます。特に、いろんな人と交流する活動は、「交流及び共同学習」などとして行われています。

たくさん(一度にたくさんでなくても、入れ替わって)の相手と接し、共に活動することで、人とのかかわりを広げたり深めたりする機会となっています。

<高知商業高校との交流>

毎年、高知商業高校の2年生が本校に来て、一日の活動を共にします(このような活動を「直接交流」といいます)。今年は、11月5日(月)・6日(火)の2日間でした。高知商業の先生からは、「この交流で生徒の人間性が養われるとともに、教員や福祉関係の仕事に志すきっかけとなることもある」とのお話がありました。

<旭小学校との交流>

旭小との間では、例年、2年生を柱として複数の学年との交流が行われます。本校に招く機会と本校が訪ねる機会があり、一緒に遊んだり、音楽会や杉の子祭の発表を見学したりしています。

<高知開成専門学校との交流>

本校のすぐ近くにある高知開成専門学校からは、例年、同校の学園祭「日翔祭」へのお誘いをいただいています(今年は12月8日(土)・9日(日)に開催)。会場の1コマに本校の作品や作業製品の展示コーナーを設けてくださっていて、“もの”を介したつながりが続いています(このような活動を「間接交流」といいます)。

<介護等体験>

小・中学校教諭の教員免許状を取得する場合、特別支援学校や施設において「介護等体験」をすることが義務付けられています。本校でも、例年80人程の学生さんが、2日間にわたって子どもたちと活動を共にしています。

頑張っています！現場実習

高等部の現場実習が順次行われており、現在は2年生が実習中です。

みんな、緊張しながらも頑張っています！



壮行式にて、決意表明！

「働き方改革」にかかわって

学校だよりNo.5では、日中の職員室の様子をお知らせし、フル回転で支援に当たっていることや教職員の時間外勤務などについてお伝えしました。

「働き方改革」にかかわっては、高知市立学校としていくつかの具体的な取り組みが計画・実行されています。本校でも、時刻を定めて退庁を促すことなどをしてはいますが、教職員の時間外(休日も含む)勤務には相当のものがああり、例えば10月では、60時間を超える者が14名、その内4名は80時間を超えている状況でした。

「働き方改革」を単に時間外勤務の多少でのみ論じることは適切でないと考えますが、教職員が仕事と私生活との望ましいバランスの中でゆとりを持って仕事に当たることは、教育活動の充実につながる意味のあることだと思います。「働き方改革」については、行政の動向を踏まえながら、今後、学校としての取り組みを行っていくこととなります。具体的な内容は、定まり次第お知らせいたしますので、保護者や関係所の皆様の御理解と御協力をいただきますよう、よろしく願いいたします。

き り と り 線